

## 令和元年度 第5回部長会（概要報告）

- ・日 時 令和元年5月8日（水）午前9時00分～
  - ・場 所 八尾市役所庁議室
  - ・出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・水道事業管理者・各部局長・理事等
- .....

### 案件

#### 1 「部局長ヒアリングの実施について」

政策企画部長

大松市長就任に伴い、各部局を対象に、施策の推進に関する諸課題等について、ヒアリングを実施する。なお、ヒアリングは、6月市議会定例会に向け、市政運営の現状と課題を市長と各部局長・理事が共有することを目的としている。

ヒアリング日程については、秘書課より対象となる部局長へメールにて案内しているが、都合が合わない場合等は別途調整させてもらう。また、説明資料については、「市長事務引継書」とするため、引継書の内容に沿って、要点の説明をお願いする。

また、公共施設等の整備に関するものについては、必要に応じて図面の用意をお願いする。

なお、ヒアリングには、副市長のほか、政策企画部長、総務部長、人事担当部長、財政部長等が同席のうえ実施する。

<発言は特になし>

#### 2 「第6次総合計画策定について」

政策企画部長

令和3年度から始まる「第6次総合計画」の策定に先立ち、平成30年度は、「第5次総合計画」の総括について、庁内評価を経て、八尾市総合計画審議会に諮問し、平成31年3月28日に同審議会から答申があったところである。

庁内評価、審議会開催にあたり、各部局の協力についてお礼を言う。

総括報告書については、6つのまちづくりの目標の総括・検証からはじまり、63の施策の検証・提案、地域のまちづくりの総括、第6次総合計画の策定に向けた提案という構成になっている。

<吉川政策企画部長より総括報告書の内容について概要説明>

なお、審議会と並行して実施した、未来の八尾1万人調査や各種調査の報告書については、随時、配布させてもらう。

今後、第6次総合計画の策定を進めていくが、審議会からの総括報告書において、さまざまな意見があり、これを踏まえ、庁内議論を経て、本年度中に、審議会に対して、第6次総合計画基本構想及び基本計画の行政案を諮問する予定である。

なお、庁内議論にあたっては、経営戦略会議の開催を予定しており、日程については、改めて通知させてもらう。

**【村上人権文化ふれあい部長】** 総合計画において、適切な指標を設定することに大変苦労しているが、近年様々な指標のサンプルが増えてきているので、参考に情報提供いただきたい。また、指標の数値の把握が難しいものについては、市民アンケートの項目を見直すことで対応できないか検討してもらいたい。

**【吉川政策企画部長】** 指標の設定については、各部局ともご苦労いただいているところであるが、他市の先進事例を取り入れながら、できる限り、数値を把握することに手間のかからない指標を取り入れていきたい。なお、市民意識調査については、回答を施策の成果を計るための指標として使っているものもあるが、質問の意図をどう受け止めているかは図りしれず、指標の数値の把握に活用することは難しく、市民意識調査結果を活用した指標はできる限り減らした方が良く考える。また、回収率に課題があり、特に、若い方の回収率が低いという課題があり、今後調査手法などを検討していきたい。

**【轉馬副市長】** 施策によっては、数値的な指標がなじまないものもあり、審議会において議論しながら、検討していく必要がある。

**【田中生涯学習担当部長】** 組織横断的な施策展開についての提言があるため、ひとつの施策について、複数の部局が集まって協議する必要が出てくると思われる。行政素案の作成に向けた今後のスケジュールについて示してもらいたい。

**【吉川政策企画部長】** 令和3年度から第6次総計が開始となるため、遅くとも、令和2年9月議会には議決を得たいと考えている。このため、現時点での予定としては、今年の夏頃(7~8月)に集中的に議論し、秋頃(10~11月)に審議会に諮問し、令和2年度初め頃には答申をいただきたいと想定している。

**【福田病院事業管理者】** 総計についての庁内的な議論は経営戦略会議が中心になると考えるが、全体的な議論とポイントを絞った議論が効率的にできる体制を検討してもらいたい。

**【吉川政策企画部長】** 経営戦略会議の中に全体会と部会を設けるなど、議論しやすい工夫をしていきたい。

**【吉川副教育長】** 審議会の意見を踏まえて、第6次総計はどのようなものになるのか、現時点でイメージはあるのか。

**【吉川政策企画部長】** 施策の数などにこだわらず、関連する施策等について、市民が理解しやすいよう心掛けて策定していきたい。なお、地域別計画については、各地域における「わがまち計画」が充実してきている中、今のスタイルでの計画は一定の役割を終えたと考えており、審議会答申にもあるように、今後の地域のまちづくりの考え方などを定める方向で考えている。

### 3 「第 19 回統一地方選挙のお礼等について」

選挙管理委員会事務局長

第 19 回統一地方選挙にかかる選挙事務応援については、府議選・知事選及び市議選・市長選の選挙事務に従事した職員及び開票所である総合体育館関連で従事した職員をはじめ、多くの協力により、無事大過なく選挙事務を完了することができ、この場を借りてお礼を言う。

具体的な人数として、府議選・知事選では、投票事務で 448 名、開票事務で 344 名、市議選・市長選では、投票事務で 448 名、開票事務で 347 名の職員の協力を得た。

また、投票率については、府議選では対前回より伸びたものの、知事選挙では、若干下がっている。市議選・市長選については、対前回よりいずれも上昇した。

次に、統一地方選挙が終了したばかりであるが、参議院議員通常選挙の日程については、現時点で、令和元年 7 月 21 日が有力となっている。5 月中旬以降に、平成 31 年 4 月人事異動を反映した各部局応援を依頼するので、協力についてお願いする。

<発言は特になし>